



答えは本の中に 隠れている

岩波ジュニア新書編集部/編
岩波書店 (分類 O19)

12人の大人が昔を振り返り、悩める10代のみんなに「本」という処方箋を出してくれます。どこから読んでもOK! 部活のこと、性のこと、友達のこと…。

「あなただけの答えが本の中に隠れています。それを見つけてほしい。」そんなメッセージが込められています。



ぼくは性別モラトリアム

からたち はじめ/著
幻冬舎 (分類 367)

自分の性別にたいして、好きになる相手について、恋愛の意味で自分は人を好きにならないかも、など、どこことなく、もやもやを感じている人。今、「自分はこうなんだ」と決めきってしまわなくて大丈夫だよ、とシンプルな絵柄の漫画で伝えてくれる読み物です。



タネの未来

小林 宙/著
家の光協会 (分類 615)

15歳で種苗流通会社を起業した著者。『なぜタネが大事なのか』を日本の食文化や農業の未来、種子法や遺伝子組み換え作物のことがらをわかりやすく紹介しながら、解説しています。タネが自分たちの食生活に大きくかかわっていることがわかります。



ミライの授業

瀧本 哲史/著
講談社 (分類 159)

投資家の滝本氏が「未来の住人」である中学生の皆さんに「未来」を作る5つの法則を伝授します。

世界を変えてきた人たちの生き方、考え方から導き出された法則がとてもわかりやすく紹介されています。



勉強なんて したくない君へ

佐藤 慧/著
東洋館出版社 (分類 159)

子どもの頃「勉強が大好き」で、自分は欠陥品だと思っていた佐藤さん。彼が経験をもとに考えた『学ぶ意味』について、『勉強』とは何かを、分かりやすい言葉で伝えてくれます。10分くらいで読める、作者からの手紙が7編、入っています。朝読書にもおすすめです。



よけいなひと言を好かれるセリフに 変える 言いかえ図鑑

大野 萌子/著
サンマーク出版 (分類 361)

誰かの「ひと言」にイラっとしたり、自分のちょっとしたひと言で相手を不機嫌にさせたことはありませんか? 「言い方」次第で、相手の受け取り方も変わります。人間関係がスムーズになる「言葉のかけ方」本です。

BOOK

中学生のみなさんへ

10月27日から11月9日は秋の読書週間です。

「BOOK DOOR -学校司書のおすすめ本-」第三弾をお届けします。

今回も、市内全19中学校の学校司書がイチオシ本を持ち寄り、物語や知識本など幅広いジャンルの本を載せています。

この秋は、好きな作家や興味のある分野はもちろん、新しいジャンルにも、ぜひ挑戦してみてください。

学校図書館のたくさんの本の中から、「あなたの一冊」を見つけてください。

本を通して、みなさんの世界がもっともっと広がることを願っています。

DOOR



国語辞典の遊び方

サンキュータツオ/著
KADOKAWA (分類 813)

「国語辞典なんて重くてつまらない、どれを選んでも同じ」そう思っていないですか? 実は出版社によって、ことばの説明が違うのです。

それぞれの特徴を「インテリメガネ君」「現代っ子」などタイプ化し、わかりやすく説明しています。

あなたはどのタイプの辞典がお好きですか?



泣くな研修医

中山 祐次郎/著
幻冬舎 (分類 B913 加)

著者は現役外科医。自分の未熟さを思い知らされながらも、全力で目の前の命と向き合う研修医の奮闘の日々を描いています。

悔し涙、嬉し涙…たくさんの涙を流しながら少しずつ成長していく主人公の姿に、「頑張れ研修医!」とエールを送りたくなります。



「お手伝いしましょうか?」 うれしかった、そのひとこと

高橋 うらら/文 深蔵/絵
講談社 (分類 369)

街に出かけると色々な人とすれちがいます。その中に、困っている人がいたらどうしますか?

助けたいと思っても、どう声をかけたら良いのか? 何ができるのか? あなたに“声かけ”の勇気をくれる本です。実際に助けてもらった人達のお話もとても参考になりますよ。

20冊目にあなたのイチオシ本を書いて、このブックリストを完成させてください。